

関係人口の増加に係る取組（２０２３年５月１日現在）

（１）関係人口の掘り起こし

豊橋市	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと納税における地元特産品や豊橋に足を運ぶきっかけとなる体験型の返礼品を充実させ、本市へのふるさと納税の拡大を図り、認知度向上・関係人口の創出を図る。 ○トライアスロンの世界的シリーズ戦である「アイアンマン 70.3 東三河ジャパン in 渥美半島」の開催に併せて、まちなかエリアでのレセプションやアワードパーティーを行い、国内外から多くの人が集まるこの機会に認知度向上・関係人口の創出を図る。 ○市外から本市への定住及び移住を希望する方や移住した方に向けて豊橋の暮らしの様子や地域の状況などを伝え、必要に応じて協力、助言等を行ったり、SNS 等を活用して幅広く発信したりする豊橋市定住・移住アドバイザーを募集する。 ○子育て・教育をはじめとした豊橋市の暮らしの魅力を SNS 広告等で戦略的に届けることで、定住・移住の促進や関係人口の拡大を図る。
豊川市	<ul style="list-style-type: none"> ○豊川稲荷や豊川いなり寿司をはじめとする地域資源の活用、文化施設の充実、スポーツイベントやスポーツ合宿への支援などにより来訪者の増加を図るとともに、都市圏プロモーション活動やメディアリレーション活動の強化などによるシティセールスの推進や、観光ルートの整備やおもてなし人材による魅力発信などによる観光振興により関係人口の創出・拡大を図る ○また、ふるさと納税において地元産・製造物品の返礼品を充実させるとともに、返礼品の受付サイトを増やすことで、本市へのふるさと納税の拡大を図り、関係人口の創出・拡大を図る。
蒲郡市	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと納税において地元特産品や蒲郡に足を運んでいただけるものなど返礼品を充実させ、本市へのふるさと納税の拡大を図り、認知度向上・関係人口の創出を図る。 ○一定期間働きながら暮らしを体験する「ふるさとワーキングホリデー」の実施し、若者の関係人口の創出を図る ○蒲郡市のリアルな暮らしを知っていただくことを目的に、蒲郡移住体験ツアーを実施し、移住者拡大を図る。
新城市	<ul style="list-style-type: none"> ○もつくる新城に新東名高速バス停留所を設置し、関係人口の創出を図る ○ふるさと納税の返礼品を充実させることにより、返礼品を通して本市のPRにつなげる ○Instagramにより本市の魅力を発信し、来訪いただくことで関係人口の創出を図る。

田原市	<p>○ふるさと納税制度を活用し市外の方に本市を知っていただき「田原市のファン」獲得に努めている。</p> <p>○全国屈指の農業産出額を誇る本市の特産品等を販売する「渥美半島たはらマルシェ」を首都圏で実施し、本市の魅力を直接PRすることで知名度向上及び関係人口の創出・拡大を図っている。</p> <p>○令和4年4月から配湯開始となった「伊良湖温泉」についてはファン獲得のための様々なイベントを実施しており、関係人口の掘り起こしに努めている。</p> <p>○太平洋岸自転車道、ナショナルサイクルートを活用したトライアスロンの国際大会「アイアンマンレース」を実施（令和5年6月10日）し、伊良湖トライアスロン、オフロードトライアスロン in 田原と併せて、トライアスリート等のインバウンド誘致に取り組んでいる。</p> <p>○全国有数のサーフスポットである本市の恵まれた環境を生かし、地域活性化を図るサーフタウン構想を策定（平成31年4月）し、サーフィン環境の向上に努めるとともに、移住イベント等でサーフタウンとしてPRすることによりイメージ発信の強化と関係人口の掘り起こしを図っている。</p>
設楽町	<p>○「オリエンテーリングのまち したら」を目指し活動を行う中、全国のオリエンテーリング関係者が大会運営等に携わっていただいている</p> <p>○起業家支援のコミュニティに所属し、起業家の実証実験サポート等の支援を行っている。設楽町をフィールドに活動する起業家や起業家に関わる人々が設楽町を定期的に訪れるようになっている。</p> <p>○「設楽町原体験ツアー」と題し、町外の企業や大学生と連携し、地域課題発掘や解決に取り組む一泊二日のワークショップを行った。令和5年度も別のテーマでワークショップを開催予定。</p>
東栄町	<p>○関係人口については、民が担って行政は見守る、それが移住に繋がれば支援するという程度でよいと思っている。町内における関係人口は、ゲストハウスやカフェ等でのリモートワーク、ズーム会議、短期滞在者等多岐にわたっていると思うが、それを行政が数値化・制度化するよりも組織にとらわれることなく緩くつながっていったらいいのではないか</p>

豊根村	<p>○同級会においてふるさと村民制度※の説明を行っている ※豊根村出身者（３年以上居住、住民票のない方）、その子又は孫が対象</p> <p>○ふるさと納税サイト「楽天ふるさと納税」への登録</p> <p>○官民学連携による関係人口の拡充（田んぼオーナー）</p>
東三河広域連合	<p>○東京圏や東海エリアにおいて東三河の特産品や観光ＰＲするイベントの開催や、ＳＮＳやＷＥＢメディアを活用した情報発信をしている。</p>

（２）関係人口の定着

豊橋市	<p>○「ほの国東三河応援倶楽部」首都圏にお住まいの愛知県東三河地域の出身の方へイベント情報や交流会開催をお知らせしているほか、SNS や YouTube の活用によるターゲットを捉えた情報発信を実施している。</p> <p>○サイクリングやサーフィンなど体験型観光及びその他情報の発信拠点である道の駅「とよはし」で「ナショナルサイクルルート」を活用したコンテンツ・イベントの実施するほか、田原市・湖西市の道の駅と連携した観光コンテンツの情報集約・発信を推進する。</p> <p>○二十歳の集いのタイミングを活用し、進学や就職で本市から転出した若い世代等のＵターンを促すため、本市の暮らしやすさや魅力的な働く場があること、子育てしやすい環境や質の高い教育環境などの情報発信を推進する。</p> <p>○学生のときから将来本市で働くことをイメージしてもらうため、市内の魅力的な企業との出会いの場の創出や、企業誘致等による働く場の創出、キャリアアップ支援などを実施する。</p> <p>○ここに住み続けたい、一度離れてもまた戻ってきたいと思ってもらうための取り組みの一環として、保護者の経済的負担の軽減や質の高い教育環境の整備など、子育て・教育施策を充実している。</p>
豊川市	
蒲郡市	
新城市	

田原市	<p>○ふるさと納税者の氏名を市のホームページで公表（希望者のみ）し、お礼を伝えることで愛着を高めている。</p> <p>○令和３年に太平洋岸自転車道が「ナショナルサイクルルート」の一つとして指定を受けた。「ナショナルサイクルルート」という観光資源を活かしながら、田原市自転車活用推進計画による国際大会「アイアンマンレース」等のスポーツイベントの実施や日本風景街道を生かしたサイクルツーリズム・アドベンチャーツーリズムを取り入れ、ソフト・ハードの両面からアスリートやサイクリストの受け入れを推進しており、オフロードトライアスロン in 田原による移住者も出始めている。</p> <p>○サーフタウン構想として、サーファーズハウス宅地開発事業等を進めている。</p>
設楽町	
東栄町	
豊根村	<p>○ふるさと村民に対し、例年春と冬にパンフレット類を送付し、村の宣伝や活動のサポートを依頼している</p> <p>○地元愛の醸成を図るため、村内小中学生を対象に、地元の仕事を紹介する「暮らしのスタディー」（小中学生向け）や田口高校生と郡内中学２年生を対象として、郡内の事業所が仕事を紹介する「お仕事フェア」（３町村共催）を開催している。</p>
東三河広域連合	